

取付終了後、この説明書をお施主様へお渡し下さい。

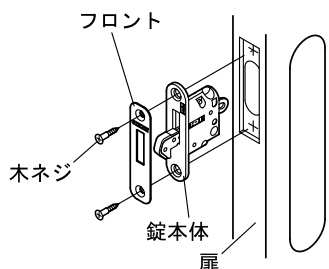
△ 取付上の注意

※本製品は一般住宅室内専用（浴室・商業施設での使用不可）です。玄関や屋外では使用しないで下さい。
※錠は施錠状態で、お取付け下さい。
※電動ドライバーは使用しないで下さい。引手取付ネジは、引手に変形しないよう注意し、しっかり締め付けて下さい。ネジの締め過ぎによる引手の変形や、加工寸法の違いによる引手と錠の芯ズレ等は、動作不良や破損の原因になります。ご注意ください。
※取付後はキー及びツマミで正常に作動することをご確認下さい。



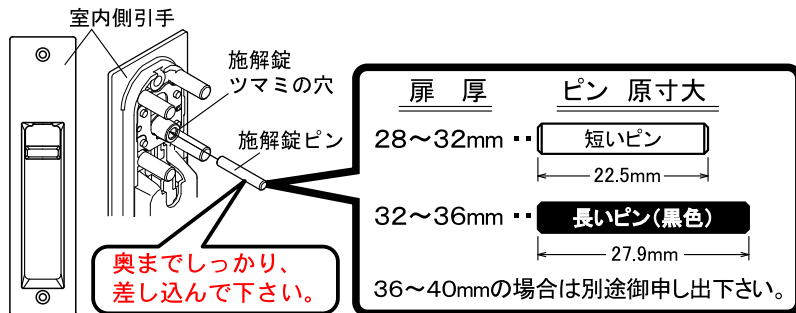
1. 扉の彫込みと錠の取付

裏面の取付型紙を利用して、扉に彫込みを行い、錠本体を施錠状態で、刻印を上にして扉に挿入し、フロントを当てがい、木ネジで固定して下さい。



2. 施解錠ピンの取付

室内側引手の施解錠ツマミの穴に扉厚に対応した施解錠ピンを奥までしっかり差し込んで下さい。室外側の引手の穴に差し込みますと、動作不良の原因になる恐れがあります。



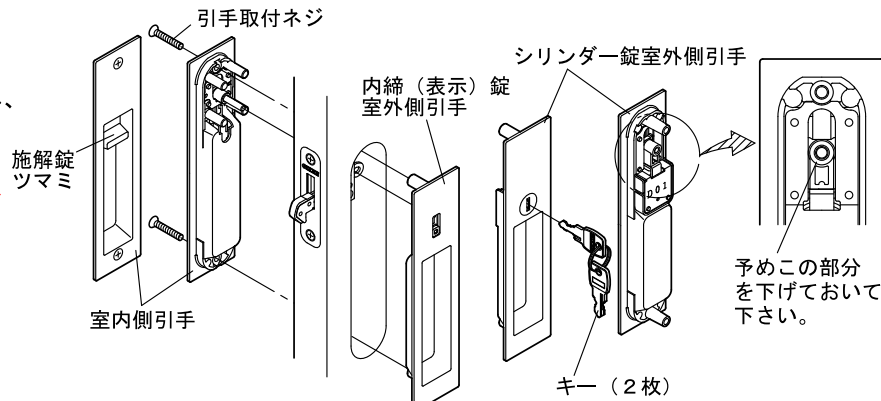
3. 引手の取付

室外側引手と室内側引手を引手取付ネジで、引手に変形しないよう注意し、しっかりと固定して下さい。

A型引手は『室外側』から、B・C型引手は、『室内側』からの固定になります。

引手を取付け後、キー及び施解錠ツマミを動かす、鍵が動作することを確認して下さい。
キーによる施解錠方法は、「シリンダー錠の施解錠方法」を参考にして下さい。

図はC型引手になります。座の形状には、種類があります。御留意下さい。



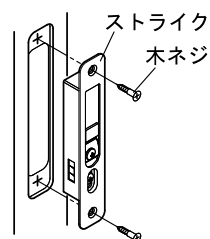
4. ストライクの取付位置出し

ストライクの位置出し部品を図の様に取付け、少し強めに引戸を開めます。枠に凹みが付いたところから22mm下がったところが、ストライクの取付中心となります。



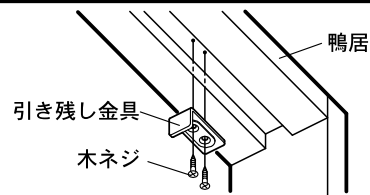
5. ストライクの取付・調整

裏面の取付型紙を参考に彫込みを行ない、木ネジで取付けて下さい。鍵のかかり具合は、「ストライクの調整方法」を参考に調整して下さい。



6. 引き残し金具の取付

引き残し金具を使用いたしますと、引手部分を枠外に残すことが出来、指挟み防止になります。付属の木ネジで鴨居溝部分に取付けて下さい。



お施主様へ

取扱上の注意

- ネジが緩んだ状態で使用していると、動作不良の原因となる場合があります。ネジの増し締めをお願いいたします。
- 汚れ落としに、薄めた中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナー等では絶対に拭かないで下さい。
- キーがスムーズに抜差しできない時には、キーのかぎ山にシリコン粉末か黒鉛（鉛筆の黒芯）を塗り、そのキーを鍵穴に挿入して数回抜差しをして下さい。キーの抜差しがスムーズになりましたら、付着している黒鉛等を拭き取り、衣服を汚さないように注意して下さい。市販の潤滑剤や油は、ホコリを吸着しかえって動きを悪くしますので、絶対に使用しないで下さい。

表面のお手入れについて

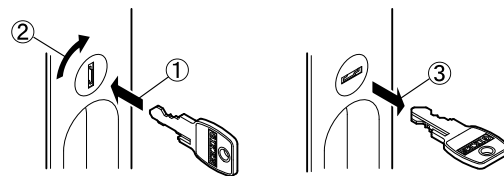
- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
- 汚れが目立つときは、水を含ませた柔らかい布で拭いてから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。
- 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

シリンダー錠の施解錠方法

鍵穴にキーを奥までしっかり差し込み、下図を参考に施錠・解錠して下さい。キーの浅差しや、キーを差したままのご使用は、故障の原因になりますので、ご注意ください。

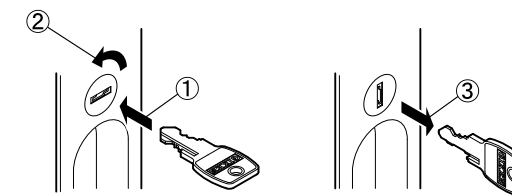
施錠方法

- 鍵穴にキーを奥までしっかり差し込み、
- 時計周りに90度回し、
- その向きのまま、キーを抜いて下さい。



解錠方法

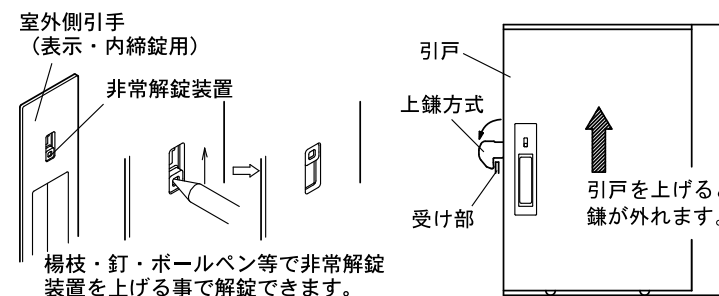
- 鍵穴にキーを奥までしっかり差し込み、
- 反時計周りに90度回し、
- その向きのまま、キーを抜いて下さい。



非常時の解錠方法

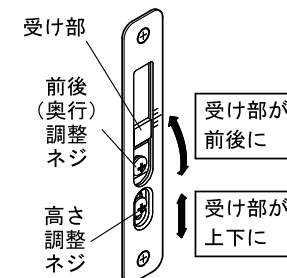
内締錠・表示錠の場合、非常時に室外側から解錠する事が出来ます。下図のように非常解錠装置を上げる事で解錠して下さい。シリンダー錠については、非常解錠装置はありません。ご注意ください。

また、引戸錠は上鍵方式になっておりますので、引戸を外す要領で、引戸を持ち上げると、鍵が受け部から外れ、引戸を開ける事が出来ます。鍵が出ている状態（施錠状態）で引戸を閉めてしまった場合、そのまま施錠されてしまうことがあります。その際には非常解錠装置で解錠するか、引戸を持ち上げ鍵を受け部から外して引戸を開けて下さい。



ストライクの調整方法

鍵のかかり具合は受け部を上下・前後に動かすことで調整することができます。調整ネジを緩めると、受け部はフリーになります。適当な位置に調整し、ネジを締め付け、かかり具合をみて下さい。御使用中に鍵のかかり具合が悪い時は、恐れ入りますが、御自身で調整の程、お願い申し上げます。



ストライクの調整量

高さ調整 上…5mm
下…5mm
奥行調整…4mm
ドア反りには…9mm

受け部が前後に
受け部が上下に

すでに調整済の場合はその分の寸法がずれております。

